

2003 年度 委員会活動成果報告

(2004 年 5 月 10 日作成)

委員会名	環境教育研究会	主 査 名：重村 力
所属本委員会 (所属運営委員会)	農村計画委員会	委員長名：藤本信義
設 置 期 間	2002 年 4 月 ~ 2004 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画	農村計画委員会を研究母体として行った文部科学省科研基盤研究(A)「児童生徒の農的体験を通じた環境教育に関する研究」(平成 11 年度 13 年度、代表 重村力)及び 2002 年度農村計画部門研究協議会「子供の農的環境体験からみた学校・地域環境づくりの新たな展望」の成果をもとに、出版企画、編集を行う。	
委員構成 (委員名(所属))	主査：重村力(神戸大学) 委員：山崎寿一(神戸大学)・川嶋雅章(明治大学)・伴丈正志(長崎総合科学大学)・内田文雄(山口大学)・伊藤庸一(日本工業大学)・糸長浩司(日本大学)・木下 勇(千葉大学)・蟹江好弘(足利工業大学)・藍澤 宏(東京工業大学)・山田晴義(岩手県立大学)・三橋伸夫(宇都宮大学)・藤本信義(宇都宮大学)・加藤仁美(九州大学)・河野泰治(福岡大学)	
設置 WG (WG 名：目的)		
2003 年度予算	0 円	

項 目	自己評価
委員会活動状況 (開催日・参加人数)	2003 年 6 月 28 日(11 名)神戸 9 月 6 日(10 名)名古屋 12 月 13 日(8 名)神戸
得られた成果	(成果の具体的内容、成果の学術的・技術的・社会的価値、ホームページ等での公開の有無)
	<p>文部科学省科研基盤研究(A)「児童生徒の農的体験を通じた環境教育に関する研究」(平成 11 年度 13 年度、代表 重村力)及び 2002 年度農村計画部門研究協議会「子供の農的環境体験からみた学校・地域環境づくりの新たな展望」の検討、反省・総括。</p> <p>上記研究成果の出版に向けての編集方針(内容、執筆者)の決定 環境教育の国際的位置づけの明確化(国際シンポジウム「多様性のなかでの循環型社会の未来を探る」(SSDE シンポ/主催 学術会議農村計画学研連、神戸大、共催建築学会他)における「神戸宣言」に研究成果を反映) 16 年度 - 17 年度に向け編集を終了し、出版の目処を整えた。</p>
	委員会 HP アドレス：
目標の達成度	(当初の活動計画と得られた成果との関係)
	科学研究をもとに協議会開催や SSDE シンポへの協力が行え、活動の社会的開示が行えた。また出版の編集方針と出版の目処がたち、当初の目標が達成できた。
その他評価すべき事項	